



# 農作業を安全に進めるために



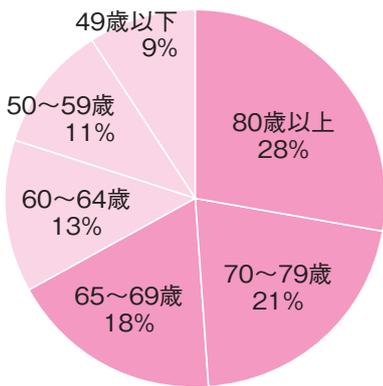
昨今、道路で人混みに車が衝突するなど、全国で残酷な交通事故が多発している。注意して運転している中、一瞬の不注意、油断から大きな事故に繋がっている。

また、農作業中の脚立、高所作業台からの転落、マキ割機での作業中の怪我等が今年度も発生している。

農作業中の死亡事故は一般交通事故の約5倍、建設業の約3倍に及んでいる。平成21年頃から発生が目立ち始め、28年をピークに減少しているが、未だに県内は他の地域に比べ高い水準にあり、その中でもリンゴの農作業で発生している割合が高い。

原因として多いのは、農業者の高齢化や、前方後方不注意、事故対策としての不備等が挙げられている。

**安全作業に必要な3つのバランス**  
危険な目に合わないよう誰もが



年齢別事故発生割合 (H21～H30)



農作業事故件数の推移

注意して作業している。そこで、安全に作業できるようには3つのバランスを整えることが重要である。

3つのバランスのうちの1つは「物」である。例えばリンゴ作業で使う運搬車や、草刈り機などの農機具だ。これらを使わない時期や、使用中少しでも異変を感じたら整備、点検を行う事で、不具合をなくし安全に作業する事が出来る。

また、機械の更新をする際には、安全機能の付いた機械を購入することもすすめている。

2つ目は「環境」だ。雨が降って作業する際ハシゴが安定しなかったり、作業場が斜面になっていたりする場所では、無理に作業を進めないようにする。どうしても行わなければならない場合は、一人での作業は控え、2人以上で作業し補助を必要とする。

3つめは「人」だ。現在問題に

なっている農業者の高齢化、担い手不足、兼業農家の増加等が事故に繋がる要因である。高齢化によりヒューマンエラー等での事故を防止する為、兼業農家でも時間に余裕を確保することが必要である事から、多人数での作業や、作業員を募集する、などで改善していく。その中でも役割分担をしていく事で、1つの作業に少しでも特化した人材を作ること必要だ。

さらに、2つのバランスの崩れが重なる事にも気を付けなければならない。例えば、高齢者が斜面で仕事を行なう、高齢者が高性能な機械に乗ることなどだ。これらのような2つのバランスの崩れにより、1つのバランスが整っていても事故に繋がることもあることから、3つのバランスを整えることが必要となる。

**事故防止の為に出来る事**  
事故防止をするために行わな

ればならないことが沢山ある中で、全て一気に改善しようとははいけない。3つのバランスの1つから行つと良いとされ、その中でも実際に多く起きている農機具の事故防止の為に、整備や点検、機械の使用に関する講習会の参加などから、優先的に行い対策をすることも重要となる。同時に天候などで悪条件が出てくる時こそ無理せず作業をしない事も必要である。

また、農作業も毎年同じ条件で行われるとは限らない。防ぎきれない突然のことが起こる場合も考え、減災対策も行うと良い。ヘルメットを被つて高所作業を行うことや、安全靴の着用など最低限の防護をすることで最悪の事態を防ぐことも可能なようだ。

全体的に共通する事として、1人での作業は出来るだけ避けるという事。何かあった時に対応できる人が居なければならぬことや、補助などが必要な時対応できるようにする事等。

### その他の起っている事故

これから夏に近づくにつれ気温の上昇により熱中症に注意しなけ

ればならない。農作業中の熱中症死亡者が平成22年に26人と急増し、平成27年には27人と上回った。多く発生している場所として、田及び普通畑で起きており、また、ビニールハウス内等での死亡事故が多発している。

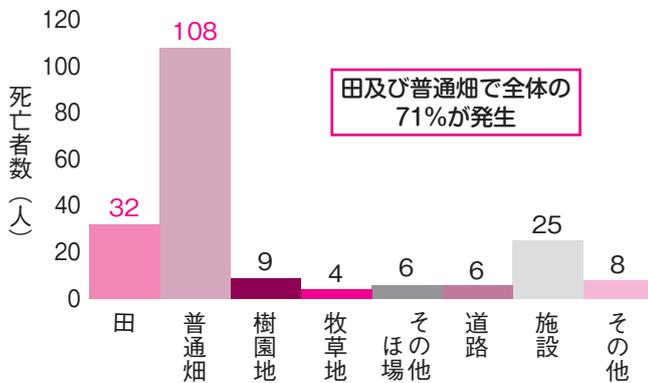
重症になる方の中には、作業中に具体的な症状が分からずに、そのまま作業に従事している為、分からずに重度の熱中症になる人が多い。特に高齢者は脱水しやすいため、水分補給には十分に気を付けなければならぬ。

農作業を長年行っているベテランの方でも多く発症する程に、気を付けなければならぬ症状であり、作業の負担程度を把握しておくことが必要。例えば、重機の操作や、草むしり、野菜などの収穫などが中程度の作業に値し、土を掘る、草刈り、のこぎりの使用等が激しい作業に値する。それ以上に走る、階段を上る、などが極めて激しい作業に値する。

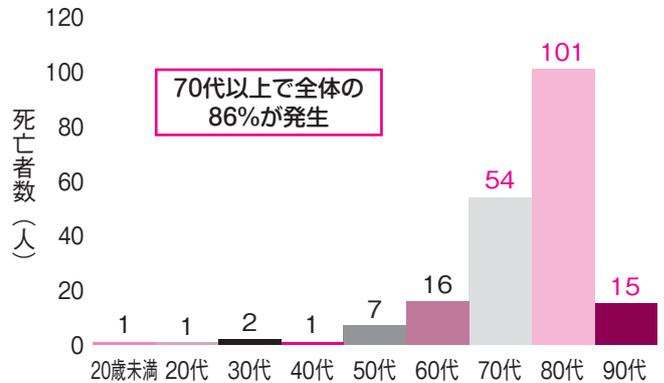
### 農作業を続けていくために

農作業事故を防ぐために三つのバランスを崩さないようにすることから始め、自分の体調を毎日管

農作業中の熱中症による死亡者数、場所別（平成20～29年）



農作業中の熱中症による死亡者数、年齢別（平成20～29年）



理する事も重要になってくる。

もし熱中症の疑いを感じられたら、身体を冷やす、水分、塩分の補給をする。脇の下、両側の首筋、足の付け根などを冷やすと効果的である。意識が無く、自力での水分補給が出来ない場合はすぐに救急車を呼び、病院で手当をする。また、日常生活でも予防をすることが出来る。

- ①暑さに強くなる食べ物を積極的に食べる。(ビタミンB<sub>1</sub>を含む豚肉や卵。カリウムを含むホウレンソウやバナナ。クエン酸を含む梅干しや、パイナップル)
- ②日々の体調管理に気を付ける。朝食を欠かさず取る事や、睡眠をしっかりとる。お酒はほどほどにし、持病がある場合作業内容を変更したりする。

どのような事故にも対処するために1人以上の作業を徹底し、無理する手前でストップ出来るように心掛けてほしいと思います。

中地域県民局地域農林水産部農業普及振興室「ストップ農作業事故」資料引用  
農林水産省「ストップ・ザ・死亡事故」「農作業事故の要因」資料引用  
東北農政局「農作業中の熱中症対策について」資料引用